

県立大学と山口市の提携 昨日・今日・明日



公立大学法人

山口県立大学

山口市

2008年2月19日

昨日

これまでの協力関係

- ・公開講座の講師
- ・行政の各種委員会の委員
- ・地域共生センターを窓口とした様々な地域貢献のとりくみ
- ・生涯現役社会づくり学会など健康と福祉をめぐる地域課題への貢献
- ・宮野駅の交流ステーションの活用事例
- ・地域の国際化への対応

「そういえば、地元で大学というものがあつたな」と住民に気づかれる段階

町屋を再生したサテライト研究室 (現在は有限会社ナルナセバ)



町屋再生・廃校利用は、「**きわめて堅実な背景をもつ取組**」として文部科学省GPにおいて評価

旧徳地町と県立大学との提携

大学とまち・むらが出会う

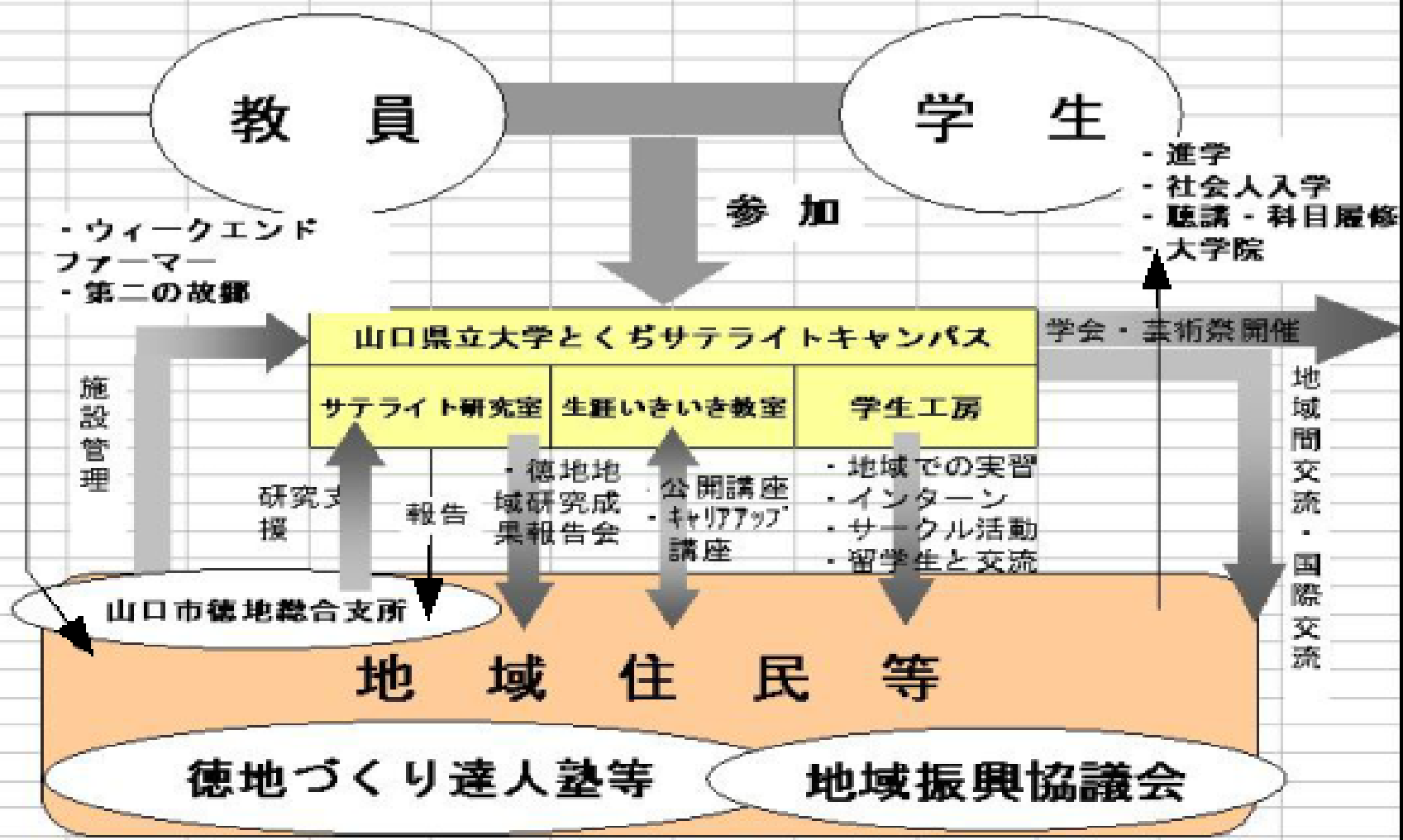
地域住民とともに学生・教員が動きつつ
相互に**人間的信頼関係**を築くという経験

文科省の現代G P
の**選定理由**
のひとつ



近くに廃校があるなんてもったいない

地域と育てる徳地サテライトキャンパス



(平成15-21年度 徳地町中核都市建設プラン基本計画の「学びの里プロジェクト」に対応)

大学から14キロ。徳地キャンパス



地域のみなさんと自分史づくり講座

徳地キャンパス(キャリアアップ講座)



地域住民と高校生・大学生がわいわいがやがや。地域でのワークショップ



今日

文部科学省のGPと地域再生計画

GPとは文部科学省がその取組を評価し、選定、支援する「**優れた教育への取組**」をいいます。公立大学法人・山口県立大学は地方小規模大学のメリットを活かした、地道で丁寧な組織的教育力が高く評価され、平成19年度から3年間の現代GP(2課題)、特色GP、社会人の学び直しGP、平成19年度から4年間の学生支援GPのすべてに採択されています。

<http://blog.ypu.jp/gp/>

「あってよかった」といわれる大学になりつつあるのでは。

時代の変化 = 大学法人化と市町合併

平成17年10月1日に、
山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町
の1市4町が合併し、
新「山口市」が誕生

平成18年4月1日より、中国・四国地方の
公立大学で最初の
「公立大学法人山口県立大学」
として新たな門出

地域貢献型大学をめざす

住民の健康と福祉の増進



地域文化の継承と創造

地域貢献大学としての山口県立大学の目標と主な組織

基本は「地域が学校・地元が先生」

地域共生授業で地域と大学の教育力を統合する

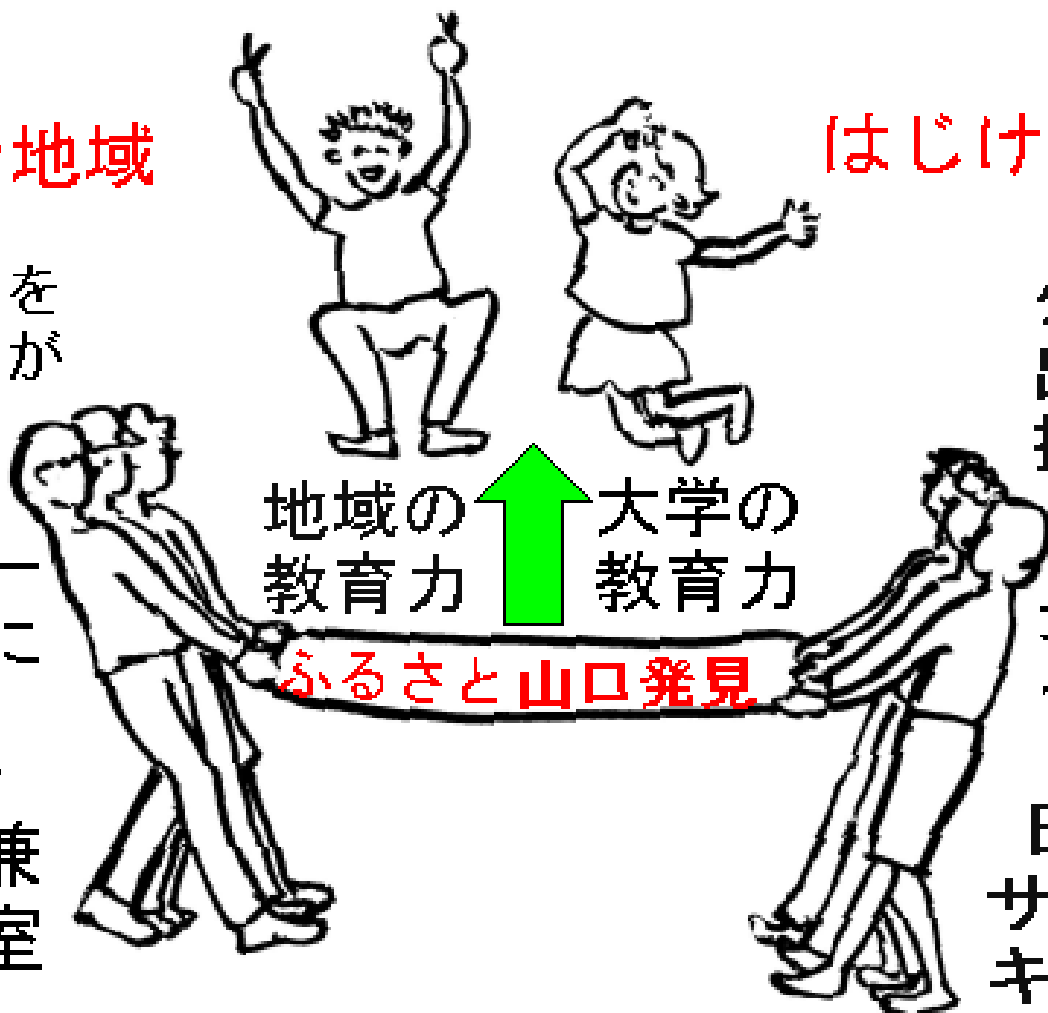
はずむ地域

はじける学生

地域共生授業を
地域のNGOが
受け入れ

地域リーダー
を大学講師に

街なかの
アンテナショップ兼
サテライト研究室



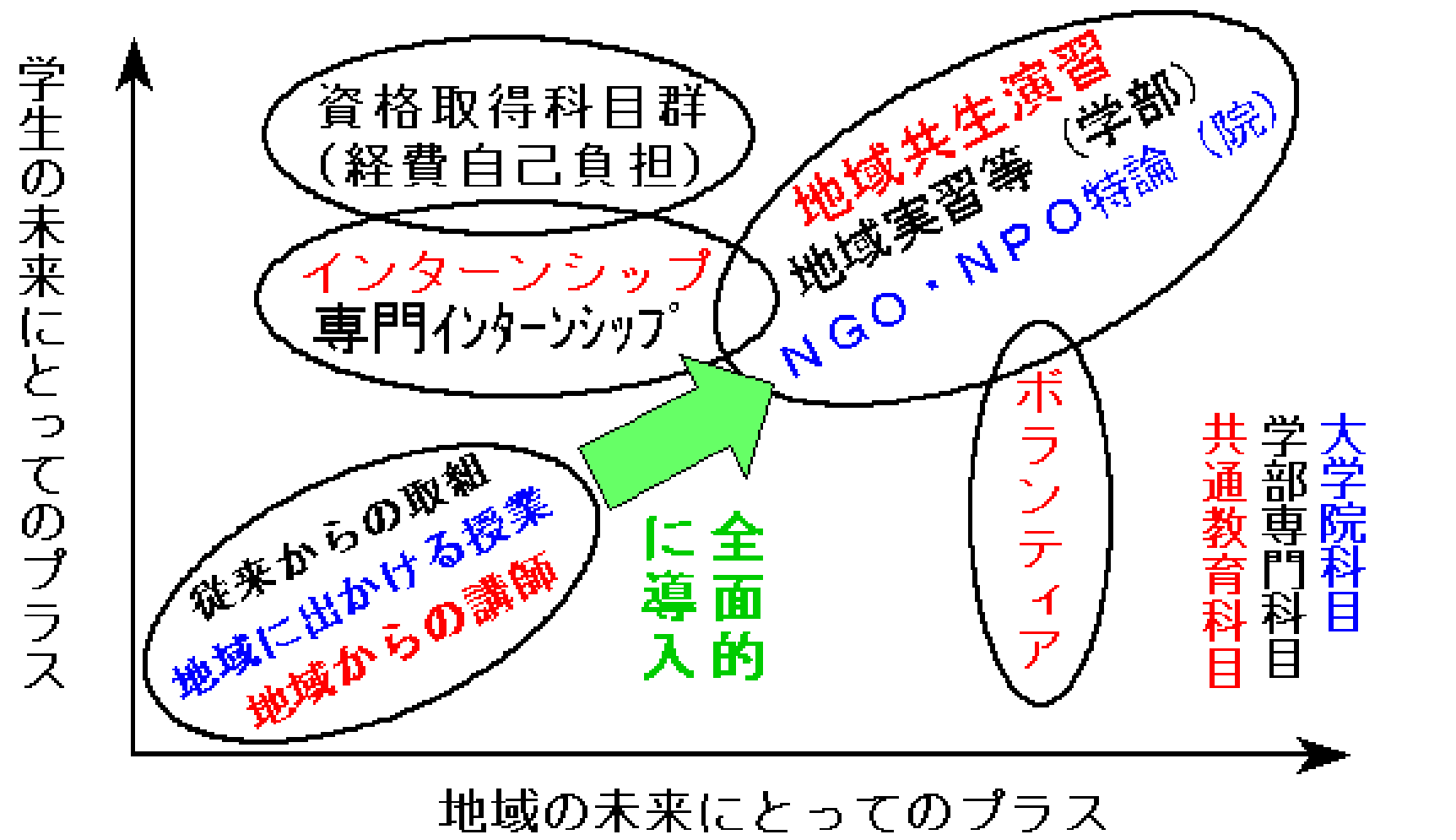
公開講座
出前講義
授業公開

地域共生
センター

田園部の
サテライト
キャンパス

地域共生授業で 地域も学生も元気に

地域共生科目群で開く大学と地域の未来



地域貢献型大学をめざす山口県立大学の2007年度以降開講科目群の相互関係

1. あったか村 ヤギにキスされる



朝日新聞に載りました！



景

07やまぐち

山口県立大の学生が農家などに泊まって、田植えや茶摘みなどを体験する「地域共生演習」が28日、山口市徳地の三谷地区で始まった。

県立大生、炭焼き満喫

同大の「三谷のイイところ発見隊」の15人が参加。初日は棚田の水路や古屋敷を探検したり、炭焼き窯の炭出しを手伝ったり。写真、藤臨正真撮影。田舎暮らしを堪能しながら地域住民との交流を深めた。

灰まみれになりながら炭窯に入った1年生の室谷奈葉さん(18)は「この炭で作るパーベキューが楽しみ」と顔をほころばせていた。

3. 串 ホームステイでお茶を手作り



4. 観光協会 山の行者さんになりました



5. マロニエの森の会 竹林の手入れに挑戦



6. えこチャリ もったいない精神で



写真は朝日新聞より



8. もりさま祭 みこしの担ぎ手たち



9. 町じゅう丸ごと博物館！アートふる 山口に来て見て下さい(10月6,7日)

高校生も加わって準備中





明日

地域が県立大学をフルに活用

各学部学科の能力を生かした協力

県内大学のコンソーシアムなど

地域にとって「なくてはならない存在」
といわれる県立大学をめざす。

新生山口県立大学が目指すもの

「育てる」

＜教育を重視する大学＞

「ささえる」

＜学生を大切に作る大学＞

「究める」

＜地域に密着した研究を推進する大学＞

「ともに学ぶ」

＜地域に開かれた大学＞

「結ぶ」

＜地域と世界をつなぐ大学＞



山口市総合計画 (2007年10月)

3 まちづくりの目標

まちづくりの基本的な方向と本市を取り巻く時代背景を踏まえ、本市がめざす10年後のまちの姿と、それに向けての課題や取り組みを示しています。

めざす10年後のまちの姿

**ひと、まち、歴史と自然が輝く
交流と創造のまち 山口**

「ひと、まち、歴史と自然が輝く
交流と創造のまち 山口」とは

- (1) 歴史と自然が生かされているまちです。
- (2) 新たな文化と産業活力が創造されているまちです。
- (3) 都市の拠点性が高まっているまちです。
- (4) ひとのつながりが広がっているまちです。

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>



山口市「地域再生計画」(2007年11月) の掲げる数値目標

- 県立大現代GPとの連携で実施
- 卒業後も地域に係わり続ける人材を10人以上とする。
- 地域づくり達人塾の参加者を80人程度とする。

地域にねざし 地域を愛し 地域を変える

水（人材）の循環と水圧（教育力）の関係

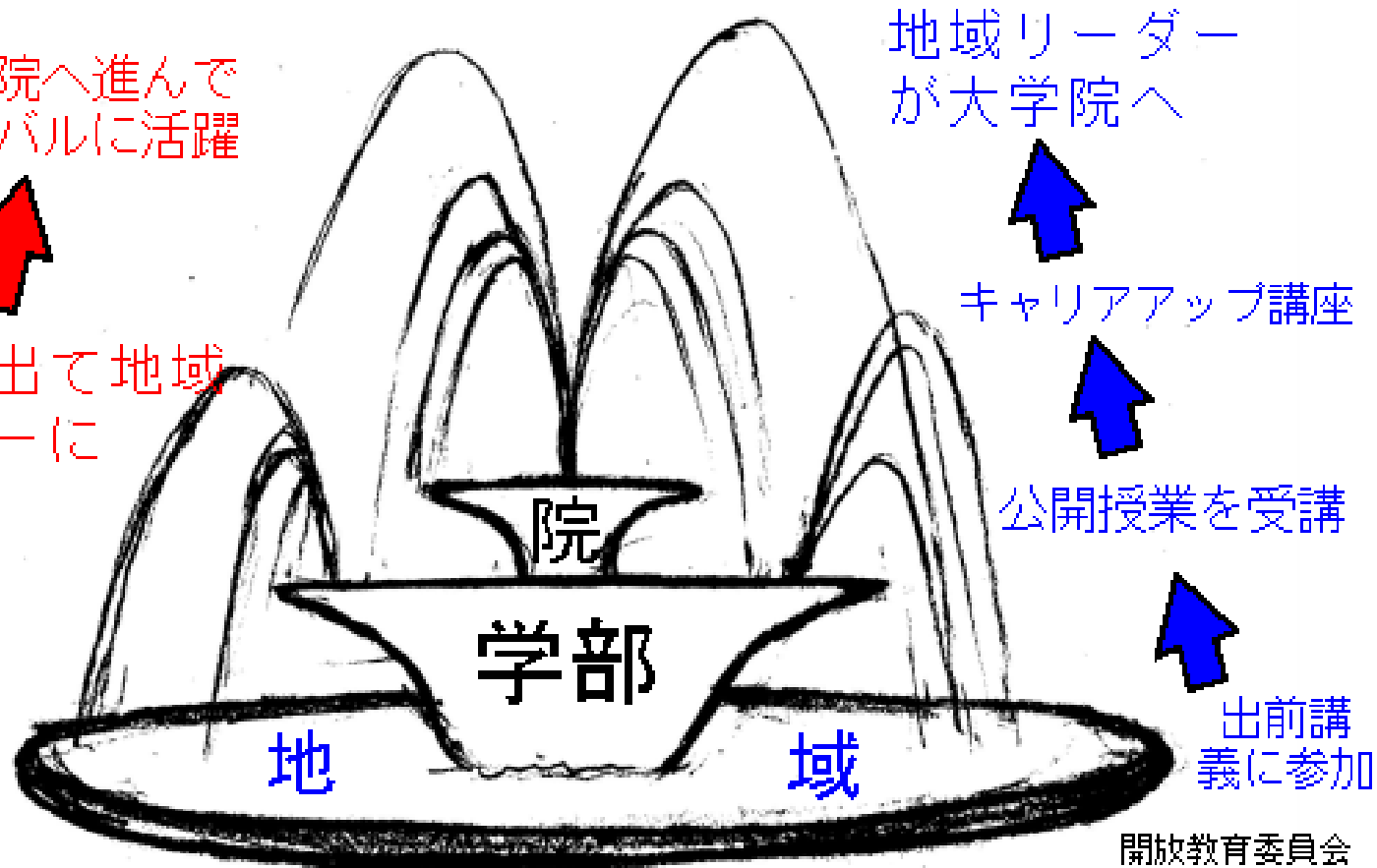
地域課題解決の実践能力

大学院へ進んで
グローバルに活躍

大学を出て地域
リーダーに

入学生

教務グループ
が運営・支援



山口県立大学の学部・大学院教育と地域開放教育との連関図

住んでみたくなる山口市に

地域との関わりの「知・係・愛・創」のスパイラル

地域づくり達人塾
とのワークショップ

地域の「お宝」探し
フィールドワーク

かかわる

地域を
知る

欠点も含めて
好きになる

住んで
深く知る

共に創る
仲間になる

地域の側の
受け入れ体制
の整備

大学が提供する
地域共生型授業

若者の地域課題解決への参画と定住策へむけての基本的構図

あとはお二人のリーダーに
語っていただきます。



プレゼンテーション作成と写真撮影
現代GP(地域の活性化・地元型)
担当教員 安溪遊地